



昭和52年修学旅行

昭和57年運動会

平成2年キャンプ

平成7年水泳

## 別れ、そして出会い

児童は下和田小学校との別れを惜しみつつ、4月からの新しい出会いに胸をふくらませていきます。

児童は下和田小学校との別れを惜しみつつ、4月からの新しい出会いに胸をふくらませていきます。

下和田小学校、渋谷小学校では児童が不安なく共に生活できるよう、計画的な交流を進めてきました。学年単位で互いの学校を訪問し、一緒に仲間作りのゲームなどをした結果、互いの名前を覚え、道で出会ったときに声をかけ合う程の仲になっています。交流の集大成として、今月22日に渋谷小学校の新装の体育館で、両校の児童全員による対面式を行います。

また、25日には下和田小学校最後の行事となる閉校式が行われます。午前の部では市長、市議会議長列席のもと、児童が慣れ親しんだ校舎に別れを告げます。午後の部は実行委員会により行われ、歴代のPTA役員をはじめ地域の方々や関係者が28年の歴史を語り合います。

たくさんの思い出とともに

新しい旅立ち

下和田小学校

## 授業を公開、最後の研究発表会

多くの外国籍の児童が在籍する下和田小学校では早くから国際教育に力を入れてきました。これまでの研究のまとめとして、「外国籍の人々とともに生きるために」というテーマのもとに、2月6日、研究発表会を開きました。はじめに全校音楽会が行われ、1年生から6年生までの児童が学年毎に外国の歌をほとんど原語で歌いました。このことから外国籍の子どもたちの母国の文化・言語を大切にしようという同校の姿勢がうかがうことができました。



参加者でにぎわう6年生の発表会場

## ありがとう

### 地域・PTAのみなさん

下和田小学校では昭和49年の開校時から地域・PTAの協力で「米作り」を実施するなど、体験学習を進めてきました。「米作り」は初代PTA会長

「米作り」は初代PTA会長

の荒井隆雄さんがご自分の水田を提供して、子どもたち

ちに米作りを教えたのが始まりです。以来28年間、下

和田小学校の子どもたちは

荒井さんの指導で土に親しみ、収穫する喜びを味わって

きました。

また、地域の農家の協力で

トマト作りや梨栽培の様

子

子

子



荒井さんの指導で田植え(平成13年)

## 下和田小学校の思い出をいつまでも

渋谷小学校では下和田小学校の思い出を残すために、校旗や写真を展示する資料室を3階に設置します。また、下和田小学校では記念のビデオ、CD、冊子を作成します。なお、教育委員会では、「下和田小学校の歴史」というホームページの準備を行っています。このホームページを3月末に完成させ、市役所のホームページ上の「下和田小学校の市立小中学校」で紹介していきます。



# We are ダストマンII!

— 2年生全員で奉仕美化作業 —



小春日和の12月19日、道ばたなどに捨てられているゴミを拾い集めることで環境問題について考えようと、下福田中学校2年生116名が「We are ダストマンII」と称して、奉仕美化作業を行いました。

1年生の時に「ポランティアの心を育てよう」と始めて、2年目となります。今年度は「学年のムードを高めよう」というサブテーマを設けて、班や学年の仲間と協力し合うことを目標にしました。

インターネットなどを利用して、「ゴミ分別冊子」を作り、収集方法については市の環境管理センターに協力してもらいました。

昨年、範囲を学区内にしぼりましたが、今年度は大和駅近くの「やまと公園」を出発点として範囲を拡げました。天気に恵まれたせいか、みんな疲れた様子も見せず、一人二枚のゴミ袋をもって活動しました。

最終的に計量したところ、ゴミは約250kg（ゴミ袋にして230袋）にもなり、生徒たちは改めてゴミの多さにびっくりするとともに、「ポイ捨てはやめてほしい」と訴えています。

同校では、来年度は別のねらいを決めて「ポランティア」の活動を進めようと考えています。



道ばたに落ちていたゴミを拾う生徒たち

## 魚屋さんからプロの技を習ったぞ!

大和中学校3年生全員（239名）が、地域の魚屋さんのご主人、魚和・高橋和義さんに鮓の捌き方を男女共修の家産科調理実習として教えていただきました。

活きのよい、今にも飛び跳ねそうな鮓におそろおそろの包丁をあてる生徒たちは、高橋さんの見せるプロの技に驚嘆の声をあげ、まさに「真剣勝負で、鮓のたたき」

に挑戦した2時間でした。生徒たちの感想は、「アジの三枚おろしは簡単だと思っただけど、とても難しく身が少ししかとれなくてとても悔しかった。また、やりたいと思う」「おじさんが優しく教えてくれたので上手にできました。手順も覚えられたと思います。かつらむきをもっと上手にできたらよかったです。本当においしかったです」等があ

り、指導にあたった米山教諭も、「地域の方々に学校教育を支援していただき、その熱意と技に感激しています。人と人とがしっかりと向き合い、伝え合うすばらしさを体験できて、感謝しております」と語っていました。



鮓の調理方法を教える高橋さん

## プレゼントに「にっこり」 市立病院小児病棟でクリスマス会



12月14日に市立病院小児病棟で恒例となっているクリスマス会がプレイルームで開かれました。企画や準備は、すべて院内学級の子どもたち、小児病棟の看護婦さん、実習中の看護学生さんが行いました。

小学5年生のH君が元気に司会し、小学4年生のY君の「はじめの言葉」でスタートしました。最初出し物は院内学級の「きよしこの夜」のハンドベル演奏とY君、H君の手品。ハンドベルの美しい音色に会場はシーンとなりました。

二人の手品は大成功で、みんなが驚いていたところ、H君が種明かしをしてしまったので大爆笑となりました。

主任の看護婦さんから「病院で迎えるクリスマス会は、寂しいかもしれないけれど、入院しているからこそ味わえる経験でもあり、思い出に残るクリスマスにしてください」というお話がありました。一同感慨深く聞き入っていました。

そろそろサンタさんの出番です。大きな声で「サンタさんー」と呼ぶと、プレゼントを持ったサンタさんが登場。一人ひとりに手作りのプレゼントを配ると、4才のA君はもらいたいプレゼントを紙に書いて、サンタさんに「これ」と言って渡しました。多分、本当のサンタクロースと思わず、リクエストをしたようです。

クリスマス会では、小児病棟の子どもたちの笑顔が会場いっぱいにはびこっていました。



サンタさんからプレゼント

# アソビの心を育む

## アソビの心を育む

西鶴間小学校の6年生15人は、アフガン難民の子どものために、文具などを詰めた「ピースバック」を、2月1日、ガールスカウト日本連盟神奈川県第33団(石本翠団長)のメンバーに託しました。

同小6年生は昨年の4月から、総合的な学習として平和について学習してきました。その中でアフガン難民の子どもたちにピースバックを贈ること、アルミ缶を集めて募金することなどが児童の中から発案されました。

昨年12月にピースバック実行委員会を発足し、6年生全員で文具やアルミ缶の回収を全校児童やPTA、地域の方などに呼びかけました。また、近所の商店街に行き空缶やタオルなどの寄付をお願いしたり、電子メールで企業に協力を求め、都内の企業2社からは歯磨きや鉛筆けすりの提供を受けることができました。

ピースバックには新品の文具や遊具、洗面用具などを詰め、85バックができあがりました。袋は児童が家から余り布などを持ち寄り、教師が縫ったものです。

贈呈式で実行委員会の代表は「私たちの平和への願いが友情とともにピースバックの形を通して、難民の子どもたちに届くことを願っています」と述べました。また、バックを預かった岩本団長は「小学校の活動としてのピースバックは大和では初めてのことで、小さな力が集まれば大きなプロジェクトを動かすことができます。まわりへも働きかけて輪を広げて下さい」とお礼を言い、ガールスカウト世界連盟難民バッジを児童に贈りました。

アルミの空き缶は1月31日までに

約27kg集まりました。アルミ缶は後日換金し、国連難民高等弁務官事務所を通じて寄付する予定になっています。



ピースバックを手渡す6年生



## 生き方羅針盤

### 「職業講話」

～地域の温かさに包まれて～

光丘中学校の1年生は、12月1日(土)に、総合的な学習及び進路の学習の一環として「職業講話」を行いました。一学期から取り組んでいる活動で職業観や勤労観を養い、生き方を考える学習です。



プロから教わる2年生

事前に、どのような講話を聞きたいのかアンケートをとり、希望の多かった9コース(歯科医師・研究者・新聞記者・美容室経営者・保育園長・商店主・寿司店社長・警察署鑑識課職員・漫画家)を開講し、それぞれの生徒が、興味や関心のある講座を一つ選択していききました。講師は、同校の学校評議員や卒業生をはじめ地域で働く方々です。

当日は、講師案内や司会進行などを生徒が行い、自分で選択したコースの話に興味津々、真剣そのもの。最初は緊張していたものの、指紋を採取してもらったり、マネキン人形の髪をまくなど、実演を行うなかで、会場はだんだん和やかな雰囲気となりました。歯科医師の齊木先生の話聞いた生徒の一人は「部活と同じで、常に勉強や努力をしていかなければならない職業。将来は齊木先生のように人に喜ばれる職業に就きたい」と感想を述べていました。最後は講師の方と固い握手をかわし、別れを惜しむ場面も見られました。

講師の一人からは「...どの生徒さんの瞳もキラキラと光り輝いて、話を夢中になって聞いてくれたことでした。人の瞳はこんなに輝くのかという驚き...」と心のこもったお手紙をいただきました。その後、行われた職場訪問では、講師の方の職場を訪れた班もありました。

地域の方々の温かさや優しさに包まれた光丘中学校の生徒にとって、こうした取り組みは、生きる力を育む貴重な機会となっています。同校では、今後も地域と連携した取り組みを進めていきます。

## 部活動に支援の風

大和市中学校部活動支援推進協議会が発足



中学校における部活動は、主に放課後等の課外活動として、多くの教育的意義を生徒・教員・保護者から認められ、長年にわたって教育活動の一環として行われてきました。

しかし、その活動は多くの教員のボランティア精神によって支えられており、教員の高齢化や生徒数の減少とそれに伴う教員数の定員減、また新規採用が殆どない等の事情により顧問教員が年々不足し、廃部を余儀なくされている状況もあります。

そこで市教育委員会では顧問の負担の軽減や部活動の存続への支援として、指導者を市内9中学校全校に派遣して

きました。(13年度は27人)また、中学校体育連盟でも昨年10月に特別委員会を発足し、部活動における諸問題について検討を進めています。

先月15日に第1回目が開催され、具体的な支援策としては、「部活動指導者のボランティア」を募集し広く市民に協力を呼びかけることや、近隣の中学校での合同部活動を含む学校間の連携のあり方を探ることなどが協議されました。

しかし、現状として様々な課題がありますので、この度「中学校部活動支援推進協議会」を設置し、今後の部活動支援のあり方について検討を始めています。

この協議会での提言が部活動の活性化につながり、魅力ある学校づくりに貢献することが期待されます。

## 小学校の冷暖房工事はじまる

はじまる

今年度より小学校を対象に温度保持除湿(冷暖房)工事が始まりました。

務室・保健室・放送室の5室は独立した空調設備を設置します。また、その他、管理諸室・普通教室・特別教室は集中冷暖房を行い、各部屋で冷暖房の操作が可能になります。

この工事の内容は既存の換気設備及び集中冷暖房設備を作り直し、新たに冷房設備を付け加えるもので、国の補助金を受けて工事をを行います。

市の整備計画としては、工事の基本計画としては、普通教室、特別教室(準備室・教材室は除く)、管理諸室を工事対象としています。管理諸室のうち校長室・職員室・事務室は、研究報告に続き、

午後8時、研究報告に続き、横浜国立大学の齋藤敏能教授をコーディネーターに、これからの健康教育(エイズ教育)に関するシンポジウムが行われました。

この日の発表会には来賓及び関係者を含め県内各地から400人を超える参加がありました。また、会場となった体育館や校内には、多くのパネル等が展示され、参加者はエイズ教育(性教育)について理解を深めることができました。

## 本市でエイズ教育(性教育)の研究発表

### 研究発表

昨年11月22日、深見小学校を会場にエイズ教育(性教育)の研究発表会が開催されました。これは文部科学省の指定を受けて、エイズ教育(性教育)の進め方や地域との連携の在り方等を研究するもので、神奈川県では本市が平成11年4月から3年間研究を進めてきました。研究にあたっては深見小学校、大和中学校、

県立大和西高校が協力校となり、児童生徒の成長に応じたエイズ教育(性教育)を研究・実践してきました。

午前中の深見小学校の公開授業では、エイズ教育を健康教育の一つと考え、1年生から6年生まで「こころ」「い

が主役のほほえましい発表となりました。



元気に発言する小学生

また、高校からは男女平等・人権尊重の精神をもとに、性に対する望ましい価値観やエイズ・HIV感染症に対する偏見・差別を払拭する

主体的な判断力の育成等をめざした研究が発表されました。

この日の発表会には来賓及び関係者を含め県内各地から400人を超える参加がありました。また、会場となった体育館や校内には、多くのパネル等が展示され、参加者はエイズ教育(性教育)について理解を深めることができました。



教室に設置される室内機



大きな室外機